
詩・短歌・俳句

レオニー・ラビオン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

詩・短歌・俳句

【Nコード】

N3429Z

【作者名】

レオニー・ラビオン

【あらすじ】

昔作ったのを置いてみようかと。

我は流浪の旅の人 輝く陽のみぞ我が道標しるべ
追えど離かれたる地平線 越ゆる彼方を目指しつづ
永ながき旅路を歩みゆく

果ては雪原熱砂漠 如何な様なる空の下もと
灼やけつく砂に埋まるとも 氷の棺に眠るとも

昨日の宿を後にして 今日の旅路を歩みゆく
未だ知らざる明日あすの友 月を鏡なりにその姿を
映して楽しき夢に見る
土に還かえつて樹々の養分かて 山の木霊こだまとなろうとも
波に揺られて海の泡 骨を珊瑚と並ぶとも

旅と人生を重ねるといふ、まあ、ありがちなテーマのポエムです。
西行法師の「願わくは花のもとにて春死なむその如月の望月の頃」
という有名な歌がありますが、自分の場合、「願わくは」のシチュ
エーションが桜の木の下という一っだけでは足りなかったので（笑）
、結果こういふポエムになりました。

現代では宇宙に遺灰を撒く埋葬（？）もあるそうで、それもいいか
も（笑）。

雨の日に 露芳しき 金木犀 零れ落つこそ いとど惜をしけれ

見上げれば 屋根にかかりし 満月が

小学校のときと高校のときに作った俳句と短歌。

俳句は小学校の学級新聞に採用されたけど、先生が「満月が」を「満月や」にしちゃってた…^^;。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3429z/>

詩・短歌・俳句

2011年12月11日20時53分発行